



気が付けば、10月最終日です。
今朝は、気温もだいぶ低くなりました。急に気温が下がったので、登校する姿を見ると、ポケットに手を入れたままだったり、パーカーをすっぽりとかぶっていたりする子がいます。お家でも一声かけてください。

今日、下校時の心配な様子についてスクリレでお知らせしました。命に関わることです。これについても同様にご家庭でお話し合いください。【図書室前はハロウィン模様。】

HAPPY
HALLOWEEN



縦割り活動 「登校班遊び」

先週から、「縦割り活動」が始まりました。同じ学年の横のつながりではなく、1年生から6年生までの学年を縦に割って異学年で交流する活動のことです。

子供たちが違う年齢で徒党を組んで遊ばなくなりました。といわれて久しくなりました。私が子供の頃のちょっと昔？は、放課後になると近所の子供たちが集まって遊んだものです。いわゆる「ガキ大将」と呼ばれる年かさの子が年下の子供たちを引き連れて遊びました。時にはちょっと心配になるような遊びもありましたが、その中で、年上の子は年下の子の面倒を見てやり、年下の子は年上の子の姿を見て、自分なりのモデルとしたものです。そういったつながりを通して、人との接し方やマナー、ルールなども学んだと思い返しています。保護者の皆さんの子供の頃はどうか？

本郷小学校では、休み時間に異学年の子供たちが遊ぶ姿が以前から少しは見られましたが、これをさらに広げて、子供たちのよりよい体験に繋がたいと考えました。

下の写真は、先日から始まった「縦割り活動 登校班遊び」の様子です。



まずは、登校班で遊ぶ機会を作りました。登校班に入っていない子供たちは、その子供たちで班を作って遊ぶことにしました。軌道に乗ってきたら、だんだんと他の登校班同士での遊びへと広がっていく予定です。校内に知り合いの子が増えるということは、子供たちの安心感や学校のあたたかい雰囲気の醸成に繋がることでしょう。

子供たちも先生たちも初めての試みです。まずは、先生が関わって、やがて子供たちだけで自然に「遊び」と「つながり」が広がって行くことを願っています。

「登校班遊び」の様子、ぜひ、お子さんに聞いてみてください。